

特集

『JR 留萌本線』について

今月号では、地域の大切な公共交通機関である JR 留萌本線について、現在までの JR 北海道の考え方や北空知の動き、町で実施しましたアンケート調査の結果についてお知らせいたします。

JR北海道
からの提案

平成 28 年 1 月 28 日 J R 北海道より、留萌本線のバス転換等の提案がありました。

◆提案内容

J R 留萌本線は、極端に利用が少ない路線であり、運営赤字が毎年 6 億 8 千 3 百万円に及ぶほか、運営赤字のとは別に老朽土木構造物の維持更新費用として今後 20 年間で 30 億円程度が必要となる。鉄道よりも他の交通手段が適しており、持続可能な交通体系とするためにバス等への転換について地域の皆様とご相談を開始したいとの内容でした。(以下 JR 北海道提供資料)

◆留萌本線沿線の概況

■留萌線沿線の交通状況



■鉄道の諸元

- ・区間 深川～留萌
- ・営業キロ 50.1km
- ・列車本数 17本(深川～留萌：上り9本、下り8本)
- ・所要時分 51～62分
- ・駅数 12駅【有人2駅(深川・留萌)、無人10駅】
- ・沿線自治体 深川市・秩父別町・沼田町・留萌市

■鉄道とバスとの諸元比較 (平成 28 年 12 月 6 日現在)

○深川～留萌

		JR北海道	沿岸・道北バス
距離		50.1km	50.2km
運行本数(上下)		17本	20本
所要時間		51～62分	63～69分
運賃	片道普通	(深川・留萌) 1,070円	(深川十字街・留萌駅前) 1,080円
	通学定期 (高校生)	1ヶ月: 14,110円	1ヶ月: 33,600円
		3ヶ月: 40,250円	3ヶ月: 95,760円
		6ヶ月: 76,250円	

○深川～石狩沼田

		JR北海道	空知中央バス
距離		14.4km	17.1km
運行本数(上下)		17本	18本(土休日10本)
所要時間		12～20分	27～29分
運賃	片道普通	(深川・石狩沼田) 260円	(深川十字街・沼田駅前) 490円
	通学定期 (高校生)	1ヶ月: 6,900円	1ヶ月: 17,280円
		3ヶ月: 19,690円	3ヶ月: 49,250円
		6ヶ月: 36,030円	

北空知

1市4町

北空知1市4町ではJRからの提案後、北空知JR留萌本線問題検討会議を立ち上げております。この会議は1市4町、JA北いぶき、JAきたそらち、各議会、各商工会で構成され、留萌線廃線には反対の立場から道や国への要望を実施するとともに、利用促進策の検討をしています。

沼田町

の状況

①石狩沼田駅での乗降調査を実施

石狩沼田駅で1週間乗降調査を5月から6月に実施した結果、深川方面へ1日平均76.7人が乗車されていました、そのうち72%が高校生で、ほぼ全ての高校生が通学で利用されています。留萌方面へは1日平均1.1人の乗車でした。

期間	行先	乗車人数				降車人数			
		学生	一般	高校生	計	学生	一般	高校生	計
1週間合計	深川行	387	94	56	537	0	4	6	10
	留萌行	0	5	3	8	349	83	64	496
1日平均	深川行	55.3	13.4	8	76.7	0	0.6	0.9	1.5
	留萌行	0	0.7	0.4	1.1	49.9	11.9	9.1	70.9
1便平均	深川行	6.1	1.5	0.9	8.5	0	0.1	0.1	0.2
	留萌行	0	0.1	0.1	0.2	6.2	1.5	1.1	8.8

※上記の他、恵比島駅と真布駅では高校生各3名の計6名の高校生が通学に利用しています。

②各高校での説明会の実施

深川西高校、深川東高校、滝川高校、滝川西高校において7月に説明会を開催し、意見交換を行いました。

【高校生からの意見等】

- ・帰りの交通手段は、1時間に1便程度ほしい。
- ・朝の便は座れない人がいるので、増便してほしい。
- ・バス転換になった場合乗車時間が長いため、朝早く出なければいけない。
- ・バスの場合、定期代が高いため、親の負担が大変。
- ・朝、通学時の普通列車が1便の為、函館線のダイヤ改正も視野に入れてほしい。
- ・滝川～沼田間の直通バスを運行できないか。

③沼田小・中学生の保護者に対する説明会の実施

沼田小・中学生の保護者に対して7月に説明会を開催し、意見交換を行いました。

【説明会時の保護者からの意見等】

- ・バス転換の場合、定期代が高くなるため、経済的に不安、助成はあるのか。
- ・JRはもうあきらめて、沼田独自の運行をしてはどうか。
- ・バスの運行時間や本数が今のままでは通学に支障がある。
- ・今のバスの運行だと、滝川や旭川の通学対応ができないので考えてほしい。

④ 高校生、小学生以上の保護者、一般利用者へのアンケート調査の実施

高校生、小学生以上の保護者、一般利用者へのアンケート調査を8月に実施しました。代表的な意見等をご紹介します。(246名発送、うち189名回答、回答率76.8%)

【一般利用者からの意見等】

- ・廃線になると過疎化の進行が心配。
- ・町外の病院に家族が入院した場合JRは必要。
- ・われわれ大学生にとっては必要。
- ・通院はバスで行きます。

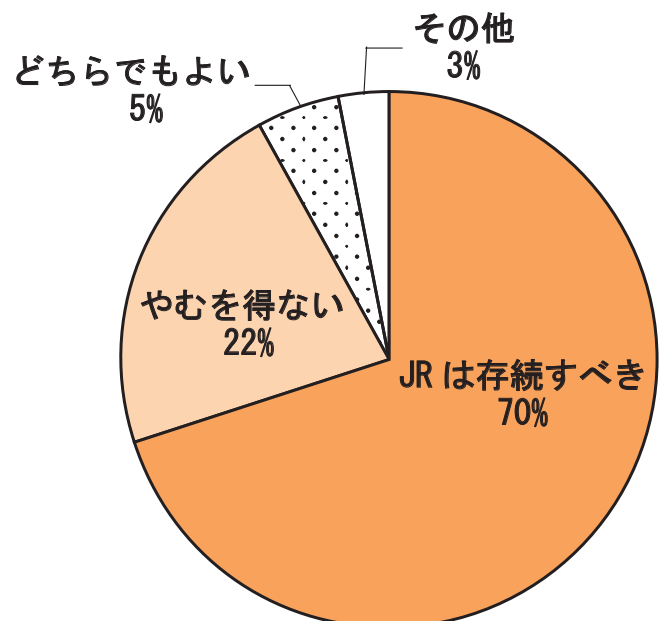
【高校生、小学生以上の保護者からの意見等】

- ・函館本線の普通列車の増便をしてほしい。
- ・留萌本線の帰宅便の増便(17:00、21:00)をしてほしい。
- ・通学便はバスの停留所を無くし、乗車時間を短縮してほしい。
- ・バスの場合、通学がJRより不便にならないように検討してほしい。
- ・通学手段がなく子供の可能性が狭められることの無いように検討してほしい。
- ・朝夕の2便は町営バスを、運行出来ないか。
- ・バス運賃の値下げ又は定期代値上がり分の補助をしてほしい。
- ・深川までの町営バス運行を検討してほしい。
- ・高校生の通学時にも、町内運行のスクールや予約制バスの様な低料金なバスが必要。
- ・各町村で協力してJRを維持してほしい。
- ・沼田～深川間のみ存続しては。
- ・JRがもっと具体的な改善案を出すべき。
- ・高齢者の通院にも配慮してほしい。
- ・沼田か、留萌に大規模観光施設を建設してはどうか。
- ・マイカー世代なので、利用しづらいバスならば両方いらない。

【質問】 JR留萌本線のバス転換についてどう思われますか。



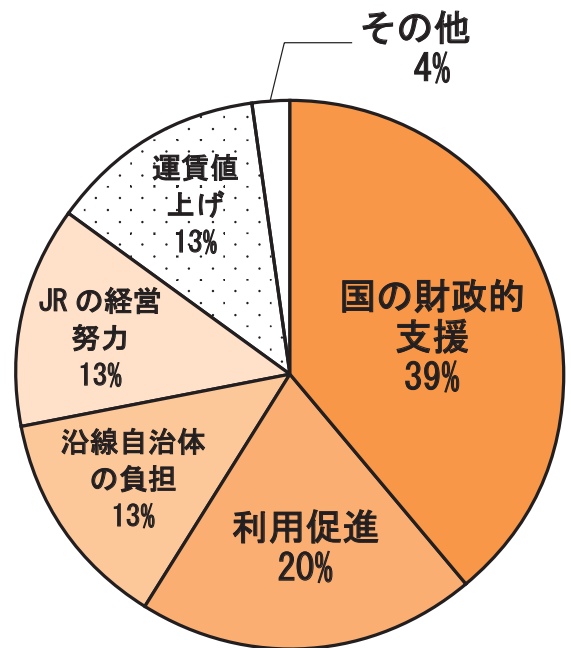
全体の集計では「JRは存続すべき」との意見が70%、「やむを得ない」が22パーセントとJR存続への意向が強い結果となりました。



【質問】もしJR留萌本線がバス転換になった場合、鉄道と比較して心配なことはなんですか。



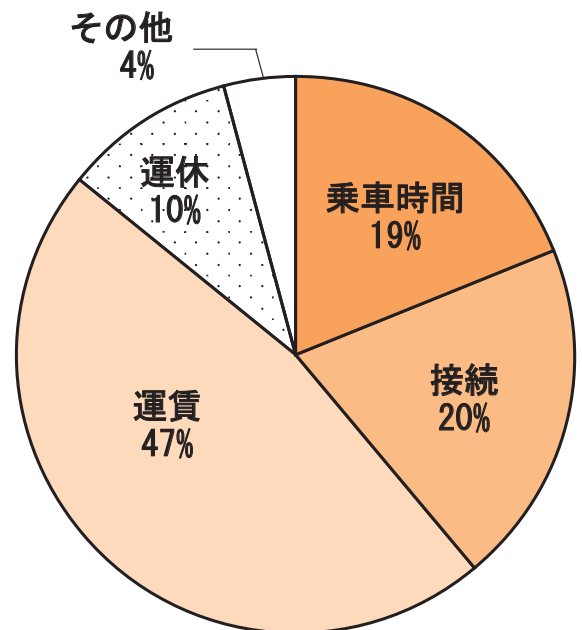
全体の集計では「運賃が心配だ」との意見が47%と多く、続いて「函館本線への接続」や「バスの乗降時間が長い事が心配」という結果となりました。



【質問】JR留萌本線存続のために必要なことは何だとお考えですか。



全体の集計では「国の財政的支援が必要だ」との意見が39%、「利用促進が必要だ」との意見が20パーセント、「続いて沿線自治体の負担、JRの経営努力」、「運賃値上げが必要だ」という結果となりました。



代表的な意見等を記載しております。他の意見についてのお問い合わせは下記担当までお問い合わせください。

今月号は留萌本線に関する現在までの状況をお伝えしました。今後も引き続き留萌本線に関する情報についてお知らせしていきます。

担当：政策推進室 【電話 35-2155】